

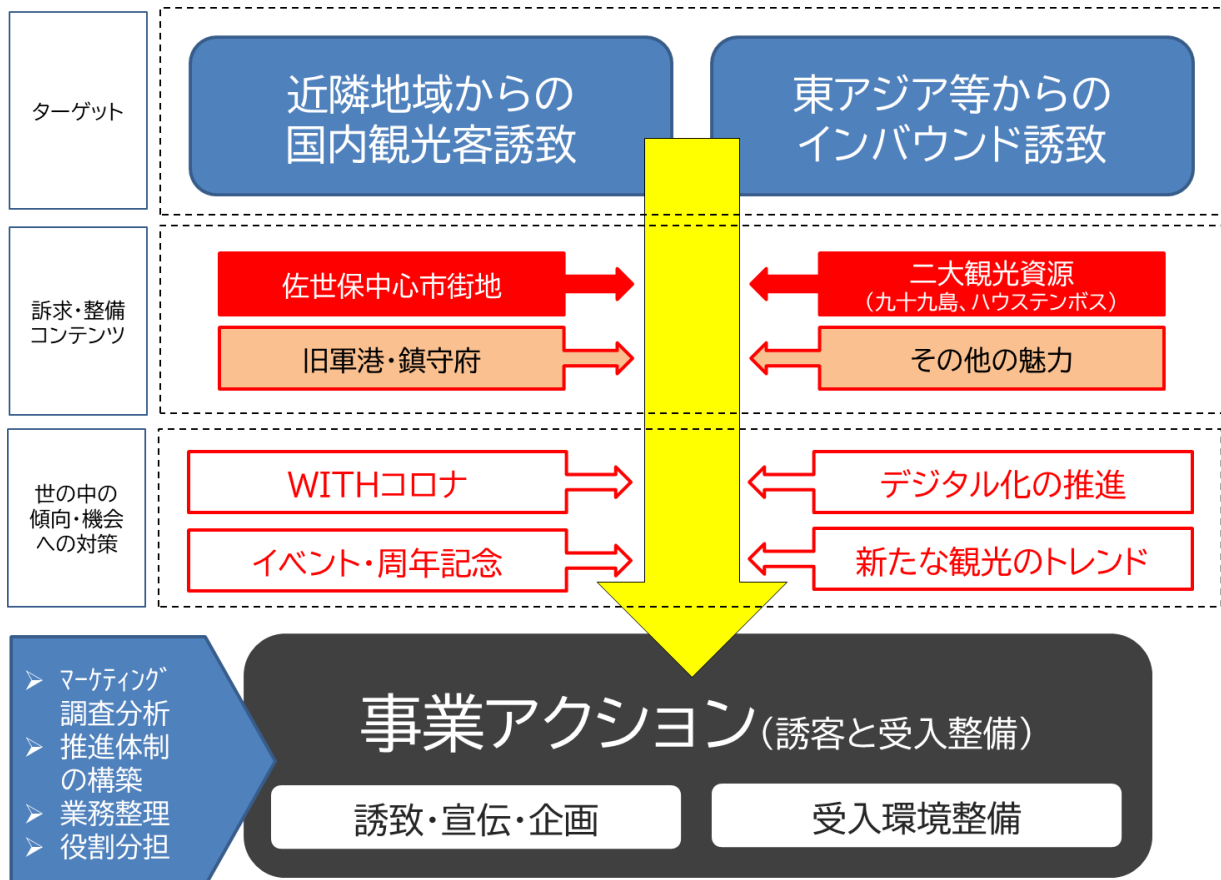
# 令和3年度事業方針

佐世保市及び佐世保観光コンベンション協会では、今後3年間の観光客誘致と受入整備の両面について、ウィズコロナ・アフターコロナの視点に立って、今後の方向性、ターゲット、目標等を検討し、事業の選択と集中のもと観光振興に取り組むために策定した「佐世保市観光アクションプラン」に沿って、低迷している地域経済の早期回復と活性化に繋げていく。

国内対策としては、本市に訪れる観光客の多数を占める県内及び福岡を中心とした北部九州エリアをメインターゲットに、宿泊旅行圏域である首都圏・関西圏を含め、コロナ収束後の消費者マインドの向上に伴う旅行需要の喚起に合わせた旬の観光情報の発信や、方面変更となった修学旅行の新規校取り込みなど、適切かつ柔軟な対応を図りながら観光客の誘致に取り組む。

また、インバウンドに関しては、需要回復に一定の時間を要することが想定されることから、訪日外国人観光客の入国制限解除後の誘客を見据え、滞在に繋がる体験コンテンツの収集・整理、磨き上げなど受入環境の整備に取り組むとともに、本地域への旅行意欲に繋がるような効果的な情報発信を強化する。

## □令和3～5年の3カ年アクションプラン策定イメージ



## 【重点事業】

### 1 コロナ影響からの早期回復

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、観光を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、収束時期の予測が立てにくい中、旅行需要の回復には一定の時間が必要と見込まれる。

コロナ禍にあって、これまでにない新しい観光のスタイルへの対応や、収束後に見込まれる爆発的な旅行需要の取り込み、地域への経済効果を高める取組みについては、観光関連事業者との緊密な連携が必要不可欠である。

特に、各種観光キャンペーンなど国県市の需要喚起策の動向を注視しながら、効果的な施策を柔軟かつ円滑に実施できるよう、体制の整備を含め積極的に推進していく。

### 2 マイクロツーリズムの推進とインバウンド対策

国内については、コロナ禍の観光動向の大きな変化を踏まえ、まずは近場からの観光客の確実な取り込みを進めるため、県内及び福岡を中心とする北部九州エリアをメインターゲットとした重点的なPRを展開する。

また、メディアや旅行会社を対象とした説明会やオンラインミーティング等を積極的に活用し、旅行商品造成に繋がる有益な情報提供や旬の観光情報発信などを通じた誘客促進を図る。

【佐世保市来訪観光客の居住地】（令和元年度来訪者満足度調査）

1位：長崎県（39.5%） 2位：福岡県（16.9%） 3位：関東1都3県（10.4%）  
4位：佐賀県（7.1%） 5位：関西2府1県（6.6%）

海外については、コロナ収束後の渡航制限解除を見据え、重点エリアである東アジア地域からの旅行者の趣向を熟知し、数多くのユーザーを有する訪日観光WEBメディアやSNSを活用した観光情報発信を強化するとともに、海外OTA（オンライントラベルエージェント）を通じたセールスプロモーションに取り組むなど、コロナ収束後の本地域への旅行意欲の喚起に努める。

### 3 佐世保市観光アクションプランに基づく事業の実施

令和2年度に策定した「佐世保市観光アクションプラン」に基づき、本市固有の観光資源を活用した宣伝・誘致と受入整備について、観光マーケティングを強化しながら各種事業の推進に取り組むことで実効性の高いものとし、観光客の周遊・滞在の促進と観光消費の拡大を目指す。

\* グルメ観光の推進、ツアー商品の充実、観光人材育成、二次交通の整備など

## 令和3年度事業別予算一覧

〈補助・委託事業〉

(単位：千円)

	事業名	R3 年度予算 a	R2 年度予算 b	増減(a-b)	担当課
1	観光地域づくりプラットフォーム構築事業	45,496	43,796	1,700	マーケティングチーム
2	観光地域ブランド確立事業	28,050	44,045	△15,995	
3	プロモーション事業	5,474	8,897	△3,423	プロモーションチーム
4	印刷物事業	8,406	6,946	1,460	
5	九十九島誘客事業補助	10,000	10,000	0	
6	観光PR素材作成	266	0	266	
7	世界遺産プロモーション業務	0	3,373	△3,373	
8	世界で最も美しい湾 九十九島 PR	0	6,500	△6,500	
9	海風の国公式HPリニューアル事業	18,899	0	18,899	
10	日本遺産 PR 事業	2,000	5,500	△3,500	
11	デスティネーション CPN (新幹線) 対策事業	3,000	0	3,000	
12	国内観光誘致事業	10,740	4,515	6,225	
13	コンベンション誘致事業	1,640	1,775	△135	
14	コンベンション開催助成事業	800	1,850	△1,050	
15	修学旅行誘致事業	2,280	1,540	740	
16	修学旅行誘致新規施策事業	2,444	128	2,316	
17	修学旅行コロナ対策誘致助成事業	0	3,000	△3,000	
18	国際観光誘致事業 (※R3 年度は 19. にまとめる)	0	7,642	△7,642	
19	訪日外国人誘致事業	12,430	5,900	6,530	
20	クルーズ船受入対策事業	19,974	22,945	△2,971	チーム横断
21	着地型観光コース創出事業 (※R3 年度は、2. にまとめる)	0	1,050	△1,050	案内販売チーム
22	広域連携事業マーケティング対策	8,910	19,606	△10,696	マーケティングチーム
23	広域連携事業インバウンド対策	17,924	17,366	558	プロモーションチーム
24	運営補助	36,017	36,860	△843	
計		234,750	253,234	△18,484	

〈自主事業〉

(単位：千円)

	事業名	R3 年度予算 a	R2 年度予算 b	増減(a-b)	担当課
1	旅行事業	42,200	59,200	△17,000	案内販売チーム
2	観光バス事業	11,900	14,175	△2,275	
3	チケット販売事業	32,500	36,850	△4,350	
4	物販事業	3,000	7,100	△4,100	
5	駐車場賃貸事業	0	14,000	△14,000	総務チーム
6	賛助会員事業	4,550	5,300	△750	
7	観光交流センター賃貸事業	20,825	20,825	0	
計		114,975	157,450	△42,475	